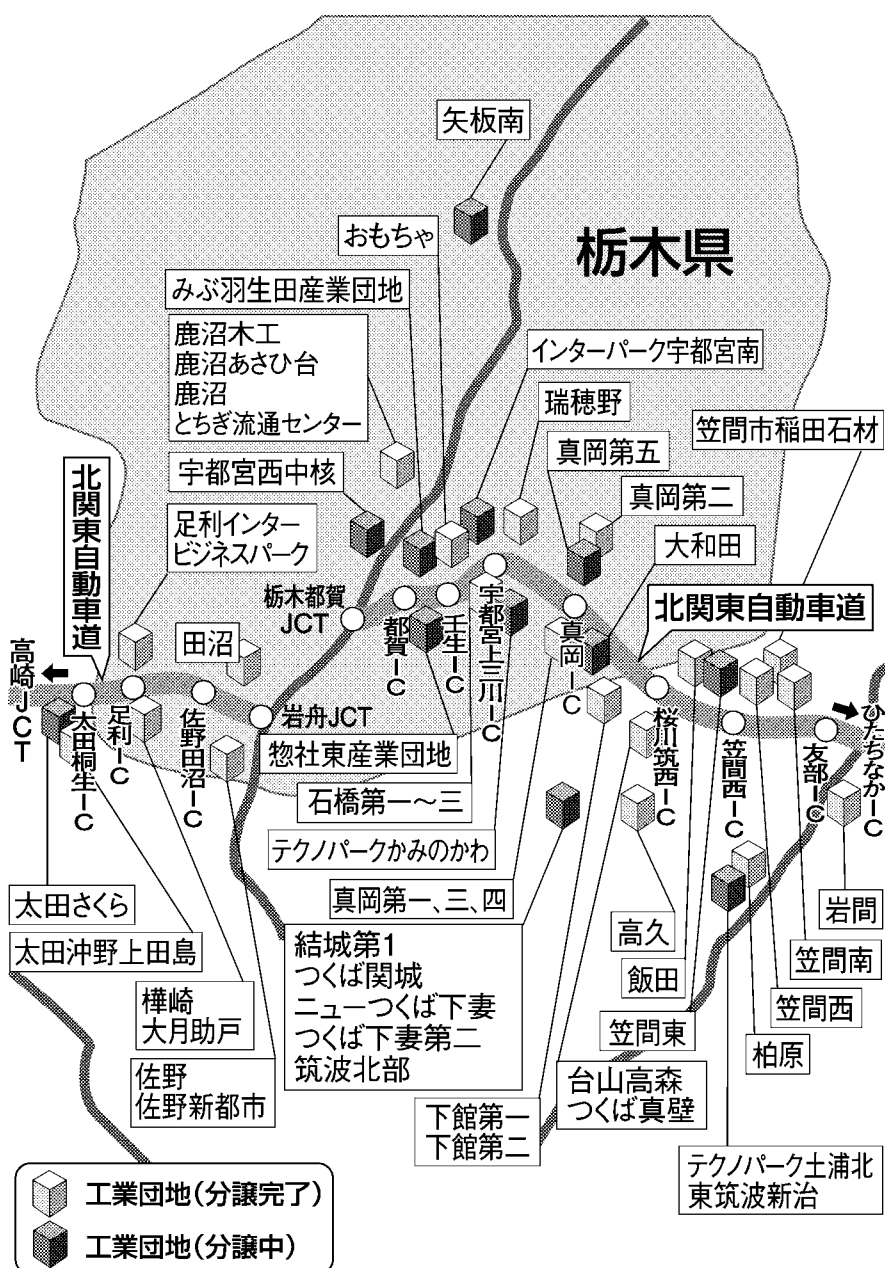


さらなる物流効率化と地域経済発展のつながる道に

企業誘致に拍車



栃木県は北関東自動車道全線開通によって企業誘致に弾みをつける(NEXCO東日本の「北関東道全線開通!太田桐生IC 佐野田沼IC間が11年3月19日開通」もとに作成)

北関東自動車道は、今回、栃木と群馬を結ぶ佐野田沼インターチェンジ(IC)。太田桐生ICの約18・6キロが開通したことにより、東京都から放射線状に延びる常磐自動車道と、東北自動車道、関越自動車道とを接続する。栃木県にとっては東西・南北の高速アクセスが可能なネットワークを確保する。首都圏や東北圏とのビジネス網を大幅に拡充する機会として、地元産業界などの期待が高まっている。

2008年12月に東北30分で結ばれ、約1時間20分短縮。宇都宮市、前橋市では約1時間30分となり、従前より約2時間短縮された。さらに太平洋の玄関口となる茨城港海運は川崎近海汽船が航路を提供している。東日本大震災の影響により、一部区間で全線開通による影響に

ビジネス網 大幅に拡充

茨城港の代替港を利用しているが、本格復旧後は常陸那珂、北海道(苫小牧)のルートのほか、日立港、釧路、日立港、北九州(小倉)も運航は、北関東エリアを拠点として、北海道や九州の経済圏を結ぶ「海のハイウェイ」となっている。最新のRORO船(自走トレーラー荷役方式)を導入しており、常陸那珂、苫小牧間、日立、釧路間をいずれも約20時間で結んでいる。北関東自動車道全線開通後、北関東エリア企業の4割強がプラス影響を期待。こんな

地域連携を強化 「元気プラン」重点戦略に

栃木県は北関東自動車道全線開通によって企業誘致に弾みをつける(NEXCO東日本の「北関東道全線開通!太田桐生IC 佐野田沼IC間が11年3月19日開通」もとに作成)

栃木県は北関東自動車道全線開通によって企業誘致に弾みをつける(NEXCO東日本の「北関東道全線開通!太田桐生IC 佐野田沼IC間が11年3月19日開通」もとに作成)

派だった。具体的な懸念としては、「近隣県との競争が激化する」が59・4%と多く、「商圏拡大により取引が減少する」が40・6%と続く。アグロセレクトに期待が高まる半面、競争激化を懸念する声もあることが分かった。北関東自動車道全線開通を機に、栃木県は企業立地の促進を目指している。現在、県内17カ所の産業団地で分譲中であり、北関東自動車道の真岡ICに近い「真岡第5工業団地」(分譲面積65・2万㎡、分譲中29・3万㎡)や、東北自動車道の鹿沼ICに近い「宇都宮西中核工業団地」(分譲面積91・8万㎡、分譲中19・7万㎡)などへの誘致活動を強化している。さらに12年度には主生IC(栃木県主生町)近くに「みぶ羽生田産業団地」(分譲面積36・5万㎡)を分譲する計画だ。それだけに企業誘致に拍車をかける絶好の機会でもある。経済産業省がまとめた10年の工場立地動向調査によれば、栃木県の立地件数は28件で全国7位となった。件数は前年比で7・1%増だったが、面積では同54・4%減だった。28件の内訳では8件を食料品製造業が占め、次いで4件の輸送用機械器具製造業だった。厳しい経済環境の中でも食品産業が比較的堅調なことが浮き彫りになっている。ただ、リーマン・ショック以降の景気回復の足取りはまだ重く、既存立地企業の流出や新規立地の低迷といった影を落としているのも事実だ。「人の元氣、産業の元氣」を、元氣度の日本一とを志す。栃木県は11年度から5カ年の総合計画「新とちぎ元気プラン」を策定し、この柱の一つ、明日を拓く成長戦略として、産業競争力の強化と地域経済の活性化を目指している。



2012年分譲開始(予定) 産業競争力の強化に向けて企業立地を促進(みぶ羽生田産業団地)

これを果たする重点戦略では積極的な企業誘致の展開が不可欠となる。自動車、航空宇宙、医療機器などの重点産業5分野については、既存の産業集積を活用して一層の競争力強化を支援する一方、有力企業の県内立地を促進するとともに、本社・研究開発機能の集積を拡大を図る。この一環で県は、10年に「とちぎ企業立地推進戦略会議」を設置した。足利銀行、栃木銀行、東京電力宇都宮支店、東京電力栃木支店、NTT東日本栃木支店をメンバーに全国の有力企業に関する情報収集を強化しており、東京での企業誘致セミナー開催などにより活動を積極化している。「元気プラン」の中で県が重点戦略の目玉として位置づけているのが、「食」をテーマに地域経済活性化を目指す「フードバレー」とし、プロジェクトだ。栃木県は、良質な水産物やイチゴを代表される豊かな農作物、都心に近い産業集積という地域メ리트がある。これを活用して新商品開発やブランド化の強化などを促進し、企業誘致の推進や関連企業の高付加価値化を進める狙い。この一環で、県や金融機関などが中心に基金「フードバレー」とし、農工商工ファンドとを組成。食品関連企業などの新商品開発や販路開拓を支援する。さらに、食品関連企業の誘致促進のため、現在は一定規模(30億円)以上の設備投資などに対する助成については、食品関連産業については現行の規模要件を廃止する。また、企業誘致や県産品を積極的にPRする拠点として、「とちぎもの売り込み隊」といふものも販売推進本部を県の東京事務所に設ける。さらに12年度開業予定の東京スカイツリー4階に「東京空街」というコーナーにアンテナショップを設ける計画で、市町村と連携して準備を進めている。

宇都宮西中核工業団地

栃木県 鹿沼市・西方町の工業団地

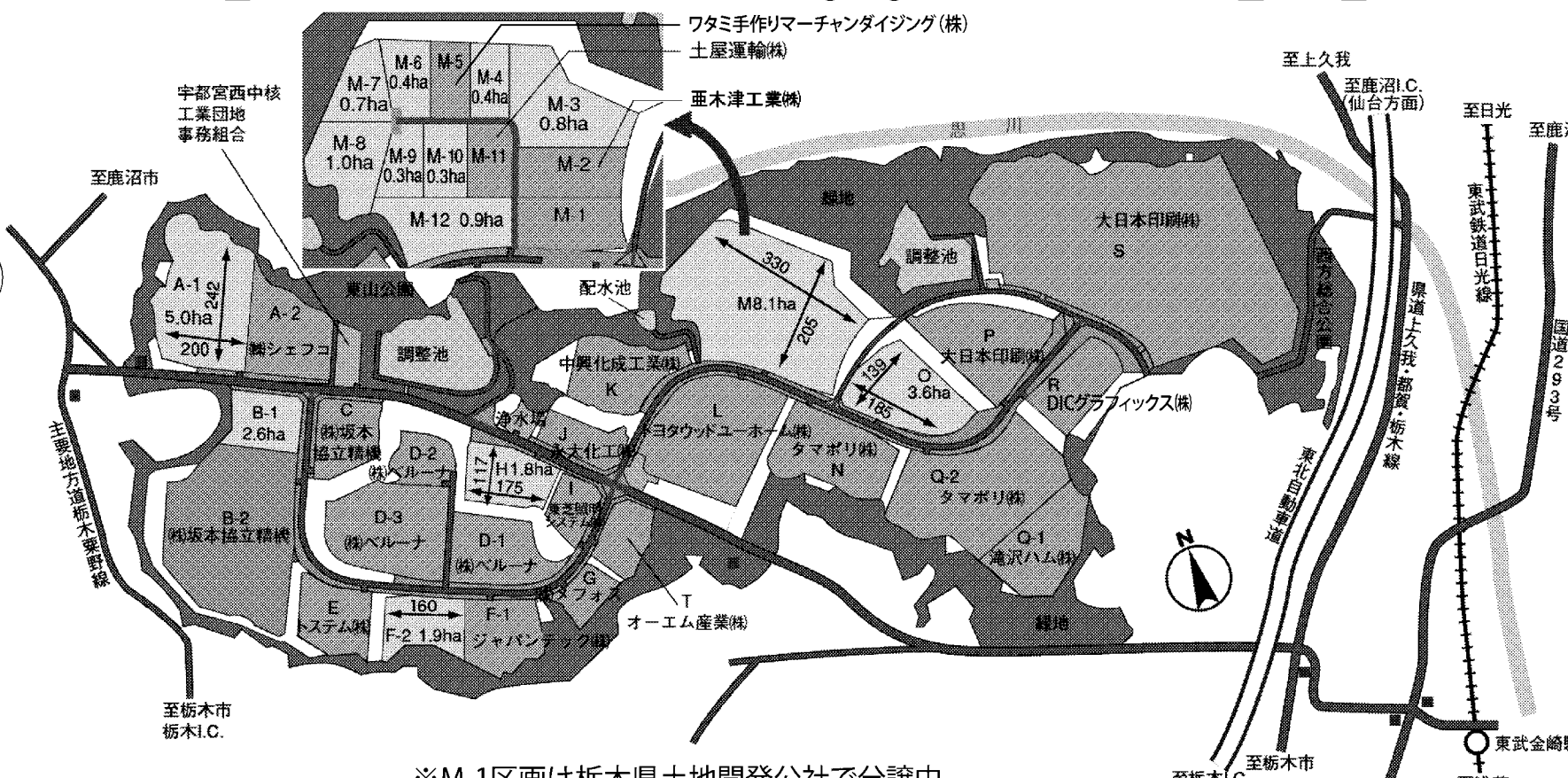
北関東自動車道 都賀ICから6km

(14,310~25,330円/㎡) 全13区画を好評分譲中!

分譲区画 分譲済

団地概要

【所在地】栃木県上野原市西方町・鹿沼市【鉄道】JR東北新幹線宇都宮駅から約20km(約40分)、東武日光線東武金崎駅から約3km(約5分)【高速道路】北関東自動車道都賀ICから約6km(約8分)、東北自動車道栃木ICから約13km(約20分)、東北自動車道鹿沼ICから約13km(約20分)【分譲区画】3,157.02~49,972.30㎡



鹿沼市・西方町では、優遇制度で立地企業をバックアップしています。

鹿沼市優遇制度

- 工業団地立地促進補助金 課税された固定資産税相当額を補助(3年間)
- 工業団地立地奨励補助金 取得した土地1㎡当たり2,000円に取得面積を乗じた額を補助
- 雇用創出補助金 新規市内在住雇用雇用者1人あたり10万円を支給

西方町優遇制度

- 立地奨励金 課税された固定資産税相当額を補助(5年間、限度額あり)
- 用地取得奨励金 用地取得額の10%を補助

※詳細は、宇都宮西中核工業団地企業誘致活動協議会のホームページをご覧ください。か、下記お問い合わせ先にご連絡下さい。

宇都宮西中核工業団地企業誘致活動協議会
【中小機構 関東、栃木県土地開発公社、西方町、鹿沼市】

お問い合わせ先 **0282-92-0316** 事務局 西方町産業振興課
<http://www.utunomiyanisi.gr.jp/>